



引率Staff
長坂 大輔

最近のエントリー
Day 105, Kolkata, India (2011.06.30)
Day 104, Kolkata, India (2011.06.30)
Day 104,Varanasi, India (2011.06.30)
Day 103,Varanasi, India (2011.06.28)

アーカイブ
2012年03月
2011年09月
2011年08月
2011年07月
2011年06月
2011年05月
2011年04月
2011年03月

投稿カレンダー
カテゴリー一覧
ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE

OLYMPUS
Your Vision, Our Future



RSS 2.0

11.06.30

Day 105, Kolkata, India

Tweet Check引率スタッフ徳田です

インド２１日目

久しぶりに全員集合しました。

全員元気です！



第９カ国目

ネパールのブリーフィングを行いました。



マレーシアでインドのブリーフィングをしたのが遠い昔のように思います。





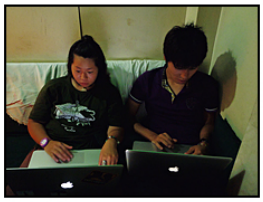


夜は皆でホテル近くのおすすめカレー屋さんへ。
ここはビリヤーニが美味しいらしいです。



コルカタの指定泊はロビー周辺でのみwifiが使用可能です。
みんなパソコンを楽しそうに作業してました。











ネパール出発まであと少し！

カテゴリ：
post by 引宅Staff | 日時: 2011.06.30 | パーマリンク | コメント (0) | トラックバック (0)

Day 104, Kolkata, India

Tweet　　Check引宅スタッフ徳田です

インド２０日目

今日はバラナシに宿泊していた皆がコルカタに到着する日でした。

毎日雨が降り、晴れ間を見ることの少ないコルカタ。
雲が太陽を覆っているせいか、
他の灼熱の都市よりも明らかに気温が低いように思います。
他の都市から来て、コルカタが涼しいと感じるあなたは
インド慣れして、暑さの態勢がついたはずです。
なんせ気温は日本では間違いなく暑い３３度ですから。
湿度も高く、毎日じめじめで汗が肌に張り付いているようです。
最高湿度９５％だから、仕方ないですね。





柳川さん、原さん、昼食へ。



バラナシから来た皆に会いに宿泊先に行ってきました。

みな元気です！

小林さん、森上さん、清水さん、原さん、高野くん、鈴木くん。

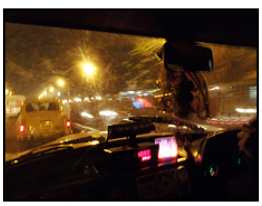


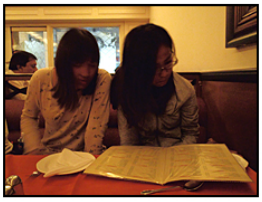
ようこそコルカタへ！



タクシーに乗り、いいレストランで夕食へ。

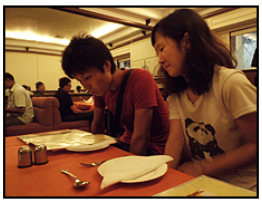







ここのレストランは北インド料理が専門で、もちろんカレーも美味しいのですが、
私がオーダーしたのは前から気になっていた
「チキンシーザー」

「ここはアメリカか！？」
とコメントが出てしまうのも仕方ありません。
なんせ、鉄板にチキンとソースの弾ける音を耳を喜ばせながら響かせ
蒸気を上げて視界を遮りさえしますから。




明日はとうとうインド集合日！

１８日ぶりに全員が集まります。

カテゴリ：
post by 引宰Staff | 日時: 2011.06.30 | パーマリンク | コメント (2) | トラックバック (0)

Day 104,Varanasi, India

Tweet

Checkインド・コルカタから
引宰の丹下です。

本日29日バラナシを発ちここコルカタに来ました。
コルカタはバラナシと比較すると涼しく感じます。
インドでのフィールドワークは、ここコルカタが最後の
滞在地となります。
4日後にはネパールへ、ネパールでは2つのグループに
分かれて写真展を開催します。
明日は久しぶりに全員が集合。様々なインドでの思い出
話をここコルカタで話す事と思います。
バラナシ最後の夜は…
私はプージャ（礼拝）を見に行きました。
何と…清水さんはこのプージャ3日間連続で撮影に…。
（連れて行ってもらいました。）
高野さん、清水さん、森上さんとともにメインガートへ



その前に腹ごしらえ…
日本食レストラン「しゃん亭」の息子さんとゲームで遊ぶ小林さん。





そして夜7時頃。辺りが暗くなり始めた時からこの礼拝は始まりました。
幻想的な雰囲気です。





ガンガー（ガンジス河）への信仰の厚さを感じさせるものでした。
最終日の朝…
お世話になったサラサーティさん。ゲストハウスの方で、常に笑顔で掃除をしてくれていました。





美味しい料理をつくってくれた「楽太郎さん」
大阪に住んでいたこともあるそうです。







インドも残り僅か…。インドでの様々な出会い、別れ、体験…。
きっとまた学生達を一つ大きく成長させてくれた事と思います。

カテゴリ：

post by 引宰Staff | 日時: 2011.06.30 | パーマリンク | コメント (0) | トラックバック (0)

11.06.28

Day 103,Varanasi, India

Tweet

Checkインドに入り19日目。
巡礼の聖地バラナシか

ら引宰の丹下です。
ガンジス河を眺めながら今このブログをＵＰしています。
今日は雨、とても過ごしやすい天候ですが、
昨日までは、何をしていても汗が止まりませんでした。
しかもこのバラナシは一日に何度も停電があります。
昨日は朝から夜まで電気が来ませんでした…。
さて、
インドに入国をしてからは、堤さん、柳川さんと共に行動をして
きましたが、ムンバイに滞在する二人とはしばしの別れを…
ムンバイの夜



ムンバイを発つ早朝6時…堤さん、柳川さん二人が私を見送ってくれました。
早朝だったので、正直見送ってくれるとは思っていなかったので、
何だか少し照れくさい…。
二人に素直に
「ありがとう」と言えなかったので、このブログを通して
「本当にありがとう。元気にコルカタで会いましょう！」

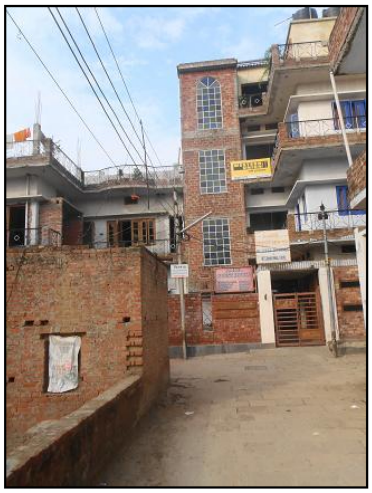
さて、ここバラナシ。
小林さん、清水さん、森上さん、錦木さん、高野さんと久々に合流。
みんなで久々に食事をしました。







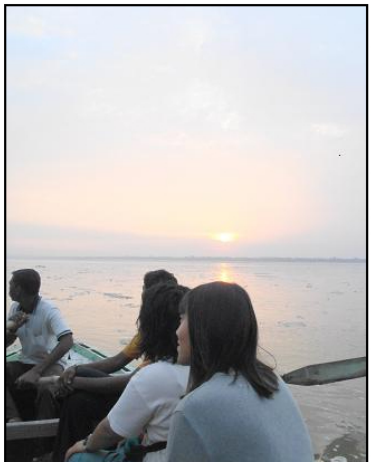
真剣な表情ですが…メニューを見て何にしようか悩んでる、鈴木さんと森上さん。
私たちが宿泊しているのは、ＡＳＨＩ-ＧＡＲＴ（ファーストガート…ガンジス河の一番上流に位置するガートです。）から歩いて10分程の場所にある「Rahul Guest House」



Rahul Guest House



ガンジス河の川沿いには沐浴をするために整備されたこのようなガーが80箇所(有名なガートだけで)あります。
日本に滞在したことのあるというジャマイカ人の楽太郎さんがいるゲストハウスで、毎日とても美味しい食事を皆でいただいています。
昨日は、早朝5時から「サンライズクルーズ」に出かけました。
ガンジス河をボートで移動する2時間のコース
これで、一人200ﾙﾋﾟｰです。(約360円)







ガンジス河、とても雄大で、ゆっくりとした時間が流れています。
この河の流れの中に人生、時間、歴史、哲学、想い…が流れている。
不思議とそんな気がします。

カテゴリ：
post by 引率Staff | 日時: 2011.06.28 | パーマリンク | コメント (0) | トラックバック (0)

11.06.27

Day 102, Kolkata, India

Tweet

Check引率スタッフ徳田です。

インド１８日目

堤さん、柳川さんがようやっとムンバイからコルカタにやって参りました。

二人とも元気です！

ようこそコルカタへ！

原さんとも久しぶりの再会。



前よりもほんのり日焼けした堤さん、柳川さん。

二人の旅をしてきたインドもまた楽しそうでした。

ぜひ、このレストランのパンケーキを食べてね。
原さん、堤さん、柳川さん。





インドも集合日まであと３日になりました。

バラナシにいる皆、コルカタまでもう少し。
インド最後まで気を引き締めてここまで辿り着いて下さい！

カテゴリ：
post by 引率Staff | 日時: 2011.06.27 | パーマリンク | コメント (0) | トラックバック (0)

Day 101, Kolkata, India

Tweet　　Check引率スタッフ徳田です

先日コルカタのサダルストリートで
ヤギの群れがヤギ使いと共に通り過ぎて行くのを見ましたが、
どうやらこのグランドから来ているようです。

まさか、この大都会で放牧をしているとは思ってもいませんでした。
数百匹のヤギの草をむしる音が響いています。

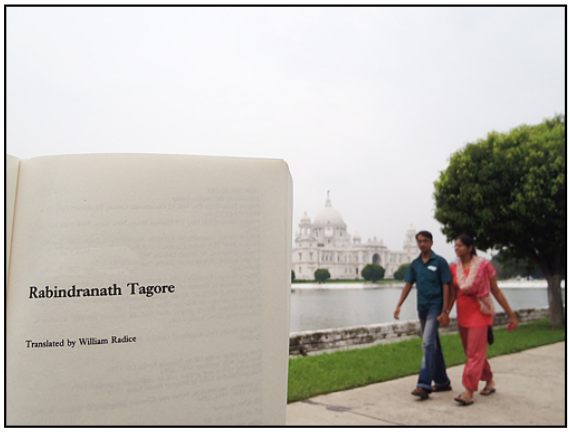


クリケットをする人たち。



コルカタと言えば、アジア人で初のノーベル賞の文学賞を受賞した
詩人ラビーンドラナート・タゴールも有名ではないでしょうか。

せっかくなので一冊、彼の本を買ってみました。



ヴィクトリア記念堂

1921年に完成

建物の中はイギリスがインドへ来てからの資料が沢山展示してあり、
博物館になっています。



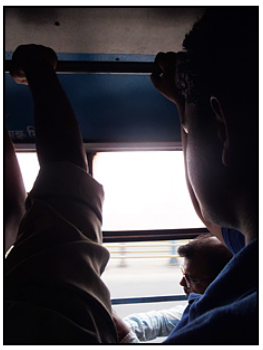



セント・ポール大聖堂



続いてボタニカル・ガーデンへ。
遠いのですが一人でタクシーは渋いため、
ハイデラバードに続きバスに乗ってみました。

東京の満員電車並みの込み具合。
この混雑状況の中、着席することはもはや不可能でしょう。
若干のスペースに入り、出発。

20分ほどで到着しました。











ここの見所は間違いなくバニヤン樹でしょう。

これを見たいが為にこのボタニカル・ガーデンにやってきたのですから。
樹齢約２５０年、枝が地上に戻り根を張り、再び幹になり、
枝を伸ばし、そしてまた地に戻ります。
この木は数百本の木々があるように見えますが、実際は一本の樹なのです。
その数は２０００本を越えます。
宗教上では地上創造の樹とも言われているそうです。







いや、素晴らしい。







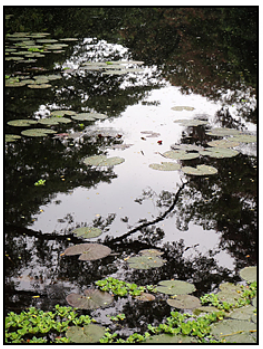



２０００種類以上の植物が集められています。









一人で行くと周りの雰囲気にのまれ、寂しさを感じるのも仕方ありませんが
散歩をしてゆっくりするには良いかもしれません。





帰りは再びバスにて。

女性専用シートがあってびっくりしました。








夕食はお勧めされたビリヤーニを食べに行ってきました。
インド風炊き込みご飯で、ガッツリ食べたい人お勧めです！

お腹いっぱいにしてくれます。



カテゴリ：
post by 引宝Staff | 日時: 2011.06.27 | パーマリンク | コメント (0) | トラックバック (0)

11.06.26

Day 100, Kolkata, India

Tweet

Check引宝スタッフ徳田です。

フィールドワークが始まって１００日目を向かえました。
みなどんな１００日目を送ったでしょうか。

インドと言えばインド映画ですが、
コルカタの街中でポップなインド映画のポスターを発見しました。
いったいどんな映画なんでしょうか。
気になります。



そんなインド映画のことを考えるコルカタの道では
写真左のチキンロールに限ります。
ナン生地と薄く伸ばした卵を焼いて、カレー風味のチキンを巻きます。
手軽さのわりにボリューム感があってお勧めです！　うまし！

と、気温３８度で湿度も相当な高さであろうコルカタの街を歩きます。




この日はインドのディーゼル価格が３ルピー(1ルピー 約1.8円)上がりました。
都市によって少し価格に違いがありますが、
コルカタのディーゼルは1リッター 47.53Rs(約78.5円)。
タクシーの運ちゃんは
「また上がった！ まったく、高すぎて困る！」と嘆いていました。
やはり、数ヶ月前もインドの食料品価格の高騰の為
各地でデモが起きていましたが、インフレが加速している現代インド。
様々な問題が起き上がって来ているのでしょうか。





「川沿いに貧しいムスリムの人たちが暮らしている場所がある。」
ということなので、行ってきました。



写真を撮る原さん。



無料の移動診療所。
車内では看護士のような人が３人ほどと医師のような人が１人。
並んでいる人の名前の確認などをしていて、
母は小さい子の薬をもらうと言って、順番を待っていました。








撮った写真を見せる原さん。



川。

ゴミが川辺に溜まり、川自体が止まっているようでした。







左には何かを数人で必死に集めていました。
もしもゴミを集めているのだとしたら、それは途方もありません。



ずっと先に続き、コルカタの郊外にも行ってきました。

チェンナイに続き、コルカタの博物館にも行ってきました。



最初に仏像部門。

初期の仏教美術や、ヒンドゥーの神様が神様別に分けられていたりで見応え十分。
仏像、ヒンドゥー美術好きにはたまらないでしょう。

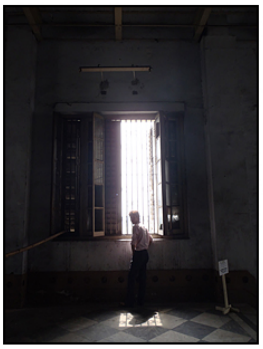


コルカタでは人気だという、ブッダとガネーシャ。









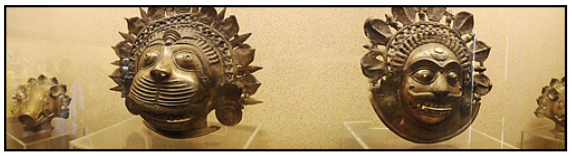
続いて、仮面部門。

ここはなんといっても地域ごとに仮面が別れているのがおもしろいです。
インドの仮面習俗をここまで見れる場所はなかなか無いでしょう。
さらに、ほとんどの仮面が近年に作られているもので、
素材から行程までが書かれています。

仮面好きにはたまらないでしょう。








こんな大きな展示も。



続きまして、人類学コーナー。

ここはインドの地域別の服装や生活習慣の断片を見ることができます。
いやいや、面白いです。
こっちはインドの南で、北、砂漠方面はなるほど、東は。。。
と一人で楽しんでいました。

インドの人類学に興味があればたまらんでしょう。





そして、ここは石、鉱石などのコーナーです。

一見なんの変哲も無いような「石」がずらりと並べられています。
そんな中、偶然ラピスラズリの原石を見つけたのには嬉しかったですが、
他はまさしく石が続きます。
個人的にはほとんどが同じような石に見えますが、
石好きには全く違った石がところ狭しと並べられていて、
何時間いても飽きない空間になっています。









ここは剥製、ほ乳類から鳥類、魚類、動物の骨格がたくさん。
絶滅動物コーナーにそそられました。



ここのスペースには植物に関するあらゆるものが並べられています。

種、植物性油、葉。。。

植物好きは間違いなく楽しめるでしょう！







まだ続きます。

ここは化石コーナーです。

ぱっと見はここも石コーナーだと思いましたが、
アンモナイトの化石が山のように置いてあったことからそうだと思います。





ボリューム感がとてもあり、若干のマニアック感拭えぬものの、
展示物の豊富さには驚き、そして楽しませてもらいました。

しかし、中はサウナかと思うくらいとにかく暑かったです。

カテゴリ：
post by 引宰Staff | 日時: 2011.06.26 | パーマリンク | コメント (3) | トラックバック (0)

11.06.24

Day 98, Kolkata, India

Tweet

Check引宰スタッフ徳田です。

インド１４日目

FWは９８日目になりました。
記念すべき１００日目までは残り２日です。

今日の朝のコルカタは先日までとは打って変わって晴れ。
やはり気温上昇とともに湿度が上昇し、
やっとインドで蒸し暑さを体験しました。

アツイ、暑いと言いながらニューマーケットの近くを少し散策。



あまりに感動的な道を歩いていたため一枚。原さん。

後で見てみると写っているのはごく普通のインドの道でした。
いえいえ、そんな道でもコルカタでは感動ができます。



太った牛と原さん。
牛を祀る小さな寺院がありました。



なぜか台の上で悠々と座っていたヤギと
学校が終わって下校中の子供たちと原さん。



誘われるままに学校へ入って行きました。



親の迎えを待つ子供たち。
ここの教室は小学生の低学年らしいです。







情報収集をする原さん。





下校途中の子供。





なぜかやたらとカラスやトンビのような鳥が中空を飛んでいると思ったら
生ゴミ集積所でしょうか。

カラス、豚、トンビ、生ゴミ、異臭、煙、空気、
そして、そこで生活しているような人、家族。

写真を撮ろうとして撮影料を求められる原さん。

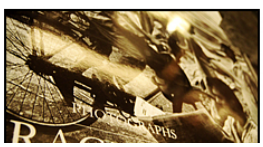


そこから少し歩いたらパークストリートという通りに出ます。

ここはこんなに小綺麗です。
そこであまりの暑さの為ファーストフード店に入って
ソフトクリームを食べました。



オックスフォード書店にて見つけた写真集。
読めるスペースがあるので、時間をみつけて読みふけりたいと思います。











コルカタは夕焼けも綺麗です。
さらに雨上がりの香りも相まって、色層がより一層増すように思います。




そして、日本食を食べに行ってみました。
庶民的な店かと思いきや、ちょっと高級感漂うお店でした。

私はこの期を大事にせねばと、カツ丼を注文！

うまし。　最高です。　満足です。




原さんもあまりの旨さに感動してました。

日本食はやはり心から落ち着けます。




カテゴリ：
post by引宰Staff | 日時: 2011.06.24 | パーマリンク | コメント (1) | トラックバック (0)

11.06.23

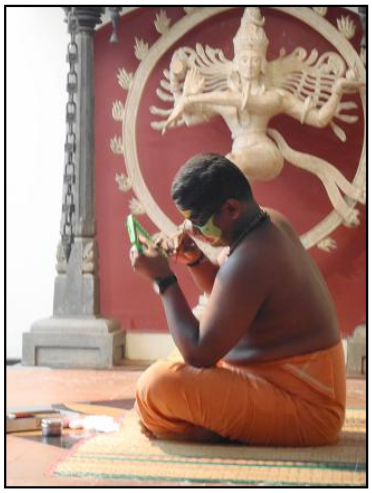
Day 98, To Munbai from Kochi ,India

Tweet

Checkインドに入り14日目。
引率の丹下です。

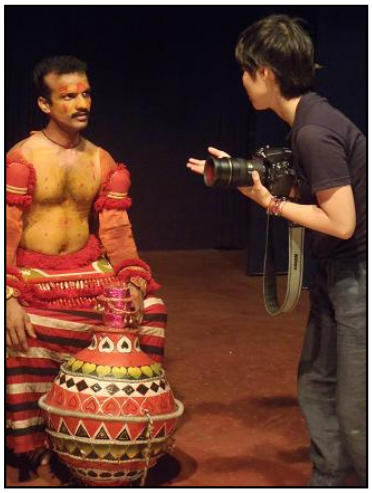
昨日、堤さん、柳川さん、丹下の3人は、コチからムンバイに移動してきました。
コチは海の田舎街だったので、人の温かさやのどかな風景にゆっくりとした
時間の流れを感じる事ができましたが、ここムンバイはコチとはまるで違う世界
を感じさせてくれる街です。
さすが大都市ムンバイです。
鳴りやまないクラクション、渋滞、人ごみ、汚染された空気、異臭、暑さ、高級車が
通る道の脇で寝泊まりをする子供たち…。
実にインドらしいというべきなのか、様々な光景を目にする事ができます。
コチ最後の夜は、３人で、ケーララの伝統的な宗教舞踊カタカリ・ダンスを観賞して

きました。
実に美しいメイク、衣装、そしてダンス。非常に楽しい時間でした。





堤さん、撮影の交渉中…。



堤さん撮った写真をくれないか？と聞かれていました。



コチで出会ったカラスを呼ぶおじさん。彼がカラスの鳴き真似をすると上空に
大量のカラスが…（びっくりして写真撮り忘れてしました…）
恐るべしインドです。
ムンバイ



インドも残すところ今日を入れて9日。

カテゴリ：

post by 引宅Staff | 日時: 2011.06.23 | パーマリンク | コメント (0) | トラックバック (0)

11.06.22

Day 97, Kolkata, India

Tweet

Check引宅スタッフ徳田です。

インド１３日目

ハイデラバードからコルカタに飛んできました。
コルカタの空港から市内へは約一時間。
明らかな雨模様。
蒸すような暑さを期待半分、怖さ半分で空港を出てみると、
拍子抜けの涼しさで、アンバサダータクシーの多さとともにびっくりしました。





「今は雨が降っているから、第一の選択肢の道路はヘビーな渋滞だ！
だから追加料金は少し出るが、第二の選択肢の道路がある。
なあ、そっちでいいだろ！？」

ドライバーの兄ちゃんはそう言いつつ、
雨と緑の多さが印象的な空港からの道を
渋滞にはまりながら真っすぐに走ってくれました。

そこには第一も、第二もないのであろう。







全てが感動的なコルカタの街。
まるで自分の目がインドを象徴する映画でも見ているかのような錯覚に落ちます。






細い雨上がりの路地。
オレンジ色の光に誘われた原さん。



「コルカタは味があります。」

きっとそれは視覚から入った情報が、味覚に届いた証拠です。
どんな味かは、この場所に来てからのお楽しみ。
インスタントにパック詰めできたら良いのですが。






一日一回は強い雨が降っています。

ここへ来てからまだ晴れて完全な青空が出て来ていません。
きっとそれもまた違う味なのでしょう。
早くコルカタの青空も見てみたいです。




突然通りがかった、ヤギの群れの写真を撮る原さん。









今日でフィールドワークは９７日目です。

１００日目まで、あと３日！！

みんな、インドも中盤を越えました。
もう一度、安全と健康管理をしっかりと確認して、
ここコルカタまで辿り着いてください。

カテゴリ：
post by 引宰Staff | 日時: 2011.06.22 | パーマリンク | コメント (1) | トラックバック (0)

11.06.21

Day 94, Hyderabad, India

Tweet

Check引宰スタッフ徳田です。

この日はハイデラバードを象徴する
チャールミナール(Charminar)へ行ってきました。

リキシャーで行こうとしたら、高いからバスで行けば良いということなので、
ホテルの近くからバスに乗って行ってみました。





1591年に建てられたこのチャールミナール。
インドヒンドゥーらしからぬイスラムの香りを感じさせます。



外国人だからでしょうか、みんな長く列を作って待っているのに

橋からすんなり入れてくれました。







そして、上へ登ります。
階段はさすがにとても狭くて、急です。
混み合っていますのでゆっくりと。













チャールミナールを中心に４つの道が伸びているので、
その道を一つひとつ見るのも楽しいです。

門のある側の道にはマーケットが続いています。











こっち側には商店が並んでいます。



塔の中心部分が窓のようになっているので、
反対側からみんな写真を撮りあってました。





こっち側はアスファルトに舗装されていない道路のようです。





こんな感じに反対側の人たちの姿が見えます。
窓です。





こちら側は門がある側とは反対方向の道です。
左にはいい感じの建物の病院、その下の露店は果物を売っていて、
大量のリキシャーが客待ちをして行き交ってます。
FWのあの人の写真を思い出しました。





チャールミナールを出てマーケットへ行くと、
やはりここはイスラム色が濃いようで、
イスラムの帽子をかぶった男性、
黒いニカブやチャドルを着た女性たちがたくさんいました。

ここのマーケットはなかなか異国感が強くて楽しかったです。










売っているものも様々。

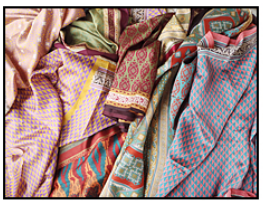
アクセサリーに木製調理器具。




時計と食器。




インドの女性がよく付けてる腕輪とスカーフ。

小さいコップが大量に積がって山になっている露店と、アクセサリー屋。




これらは一体何に使うのでしょう。
何やら分からない葉っぱや山椒の刺のようなものを売っているお店。
薬でしょうか、インドだから香辛料でしょうか。




チャールミナールのすぐ近くにあるのがこの
インドでも最大級のモスク、メッカ・マスジッド(Mecca Masjid)。
8000人以上の労働者が建設に携わり、77年かけて1694年に完成しました。



かつての王たちのお墓もあります。







最大で1000人の人を収容出来る、このスペース。
奥の壁は西にあるメッカの方角を向いているそうです。

もう少しじっくり見てたいのですが、
如何せん鳩が多くて、中を覗いていると、
横にベチャと落ちるふんの音。
残念ですが、長く中を見るのはかないませんでした。



そして、再びバスに乗りホテルへと戻りました。





カテゴリ：
post by 引宅Staff | 日時: 2011.06.21 | パーマリンク | コメント (1) | トラックバック (0)

Day 93, Hyderabad, India

Tweet

Check引宅スタッフ徳田です。

インドでも最も壮大な要塞の一つである、
ハイデラバードのゴルコンダ要塞に行ってきました。

ゴルコンダとは名前からしてかなりごつめです。

ヒンドゥーとイスラムのミックスした特長ある町中を抜けて
中心部からリキシャーにて３０分ほど。







要塞の周囲約7kmを囲む高さ15～18mの堅牢な城壁を抜けると
そこにゴルコンダ要塞への入り口があります。



もしガイドさんが必要だったら、英語ガイドならいます。
孤立する120mの花崗岩の上に造られた要塞の地図です。







要塞への通路もまたがっつりとしてます。







綺麗に整備された庭。

観光客たちがカレーのお弁当を食べながら休んでいました。
そこまで暑くないので、木陰で休めば気分良くピクニックできます。





そして、要塞を登ります。





少しずつ街並が見えてきます。









要塞内には昔は違う風景であったろう場所に
歴史を感じさせるように木々が茂っています。
この日のやたらと強い風が時間も何も全て吹き飛ばして
元の姿を見せてはくれないでしょうか。



頂上にはヒンドゥー教寺院。
みなここでお参りしてました。







要塞の岩山の頂上にある奇岩。





以前、世界遺産での落書きがニュースへあがった時がありましたが、
ここにもやはり愛の印が多数書かれてました。





頂上にある建物からは街を一望できます！
その景色からこの要塞がどれだけ孤立した岩山かが見て取れます。



オレらを撮ってくれ。と一緒のペースで登って来た３人。



この方向から風がもの凄い勢いで通り過ぎて行きます。
本当によろめくほどで、目が覚めます。
このゴルコンダ要塞の頂上に吹く風からは
どうしても過去の王国の姿を感じずにはいられませんでした。

こんな風はなかなかありません。感動しました。
ここはまさしくパワースポット。
風に誘われ、呼吸しました。







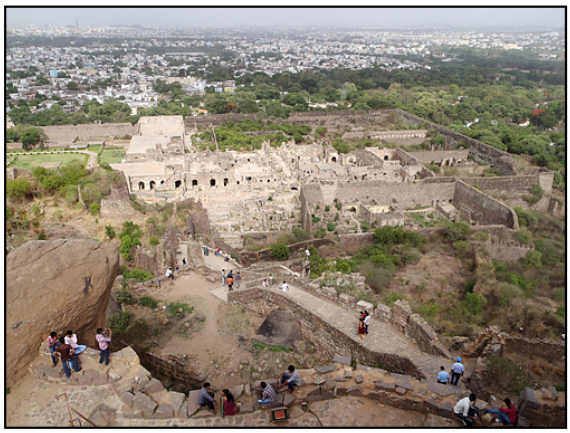


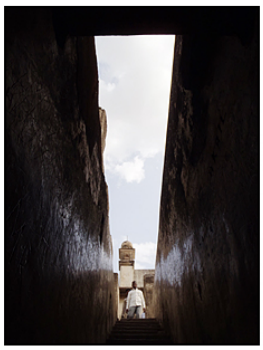

要塞の周囲を囲む城壁もまだ残っていて、ぐるっと見えます。





要塞は今では完全な姿を留めてはおらず、さすがに所々朽ちていますが
まだまだ勇壮で立派です。
そして、やはり眺めは最高。






もし、歴史を戻して完全な姿を見れる発明品があればどれほどに感動するだろう。
と一人思いながら歩き回ってました。
この朽ちた建物とその間にある草と木々がたまらないです。

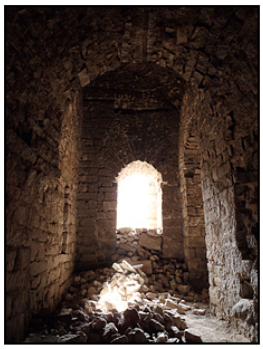








所々、少しだけ補修工事などをしていました。









ゴルコンダ要塞はどうやら世界遺産ではないらしいですが、
他のインドの世界遺産にも負けず劣らず素晴らしいです！





そして、フセイン・サーガル湖。




ヒンドゥー教徒が多いインド、
ハイデラバードは特にイスラム教徒が多いのに、
湖には仏像があります。

この湖はマリンスポーツが盛んです。



post by 引宅Staff | 日時: 2011.06.21 | パーマリンク | コメント (24) | トラックバック (0)

Day 93, Kochi, India

Tweet

Check引宅の丹下です。
堤さん、柳川さん、丹

下の3人はインドのコチに来ています。
インターネットカフェに来て更新をしていますが、停電により何度も
シャットダウンしています（笑）
今現在、午前10時で気温は32℃。既に暑いです…。



コチのエルナクラムから、昨日撮影のためにチャイニーズフィッシング・ネット
のあるフォートコーチン地区に移動をしてきました。
アラビア海に面した海辺の街だけあり、魚が豊富に揃れ、新鮮な魚が食べら
れます。
チャイニーズフィッシング・ネットは、コーチン独特の漁法らしく、網を海中に沈めて
丸太で引き上げる仕掛けになっているようです。







大がかりな仕掛けの割には今回の漁はあまり揃れなかったようです…。
釣りをしている人も沢山います。
糸と針と錘と餌（エビや貝）。これだけで釣れるようです。



堤さん、柳川さん、ホテル近くのオシャレなカフェで食事。
やはりここは魚料理を…大変美味しいです。





明日はムンバイ。
今日はコチ最後の日を楽しみながら、二人は撮影をしています。

カテゴリ：
post by 引宝Staff | 日時: 2011.06.21 | パーマリンク | コメント (0) | トラックバック (0)

11.06.19

Day 92, Kochi, India

Tweet

Check日本の皆さん。ブログを海外からもご覧いた

だいている皆さん。
おはようございます。引宝の丹下です。
インドに入り10日目の朝を迎えています。

昨日、バンガロール班（堤・柳川・引率丹下）は、コチ（コーチン）に移動してきました。
朝9時という時間なのに既に外の気温は37℃、立っているだけで汗がでてきます。
バンガロールと比べて暑い、暑い。蒸し暑く、クーラー無しではとても眠れません。
昨日は、バンガロール最後の撮影にたまたま、堤さん・柳川さんを街で見かけました。
今から取材に行く所です。
リクシャーの運転手に地図を見せて、金額の交渉をしています。





いってらっしゃい～。
柳川さん最後の夜まで撮影をしていました。

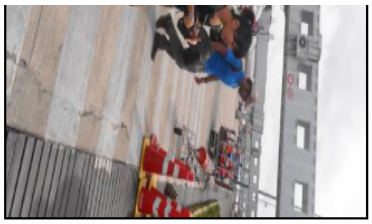


さて次の日、バンガロールを発ち、3人でコチへ
コチの空港上空より撮影。



インド航路を発見したヴァスコ・ダ・ガマの墓がある聖フランシス教会や、
コーチン藩王のために造られたダッチパレスなど歴史的な見どころのあるコチ。





空港に到着。



早速歩いて海へ！二人とも久々の海を見てテンションあがったようです（笑）
ここでの滞在期間は、5日（移動を含む）、22日にはコチを発ちムンバイへ！
19日（日）の今日も堤さん、柳川さんは朝から撮影に出かけています。
暑いけど、二人とも頑張れ。
そしてＦＷ6期生の皆さんも頑張れ！

カテゴリ：
post by 引宅Staff | 日時: 2011.06.19 | パーマリンク | コメント (110) | トラックバック (0)

11.06.16

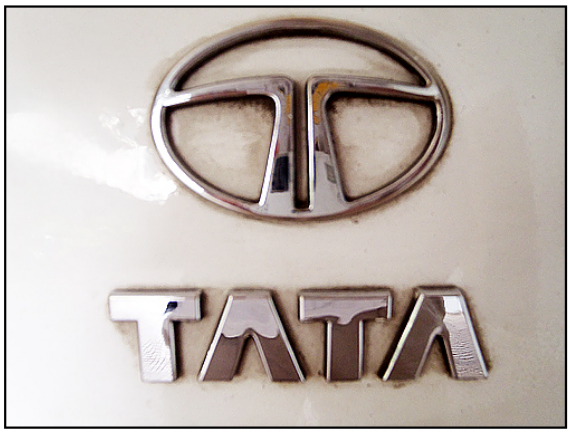
Day 91, Chennai to Hyderabad, India

Tweet　　Check引宅スタッフ徳田です

インド７日目

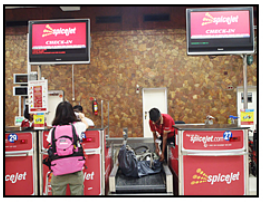
早いもので、インドに来てから１週間が経ちました。
いまのところ全食カレーを食べ続けております。
一向に飽きる気配はなく、逆にお腹からは質量増加の気を感じさせます。

本日はチェンナイからハイデラバードへ移動しました。
インドといえば、「TATA」。
タタのタクシーで現在新空港を建設中のチェンナイ空港へ。



預け荷物をX線に通して確認のシールを付けてもらい、搭乗手続きをします。
会社ごとに別れている為、乗る航空会社と違うX線に通しても
やり直しになるので注意が必要です。





２００８年に完成したハイデラバードの新空港。
ものすごく綺麗で近代的です。

市内まで約４０km。１時間。





ホテルの方たちは皆とてもフレンドリーで親切心に溢れています。
細かいことでも何でも助けてくれて、ありがとうございます。

駐車場の従業員さんと原さん。



ハイデラバード市内





中心地には信号があり、きちんと警察により統制されています。
時間は少々短くてすぐに変わってしまいますが、
なんと歩行者用の信号も機能しているところが数カ所あるくらいです！



ハイデラバード駅。

駅も立派です。







吉兆でしょうか。
何やらの形の空と、虹をさっそく見ました。



ドナルドと原さん。



レストランに寄ると、
たこ焼きのような美味しそうな物を食べている人がいたので、
教えてもらい、食べてみました。

「Dahi Poori」ダヒ・プーリ

形はやはりたこ焼きのように丸くて、表面が少しパリッとしているのですが、
中に入っているのは冷たいヨーグルトと豆です。
その上にインドのスナック菓子とタマネギが乗っています。
どうやらこれは食事ではなく、インドのお菓子のようです。

美味しいか、美味しくないかはあなた次第。
ぜひ一度ご賞味あれ！











写真左：マサラ・ドサ
ドサとはこの大きなクレープのように生地を薄く伸ばしたもののことです。
ちなみにマサラは、香辛料や混ぜ合わせることを意味します。




ハイデラバードは夕方になると風が気持ち良いです。
伸びた髪をさっぱりと坊主にしたので、風が毛先を涼しく通りすぎます。

カテゴリ：
post by 引宅Staff | 日時: 2011.06.16 | パーマリンク | コメント (0) | トラックバック (0)

Day 91, Bangalore,India

Tweet

Check引宅の丹下です。バンガロールに来て5日目の本日。完全フリーの日だったので、
街に散策にいきました。
バンガロールは近代的な建物が並ぶ都市という感じでしたが、少し歩けばこんな風景を見ることができます。（多少迷子になりました。）
至るところに鶏、牛、ヤギがいます。







子供たちがカメラを構えたら寄ってきてくれました。良い笑顔でした。
野球らしき,クリケット？遊びをしていました。ちなみに少年が持っているのは
バットみたいなものようです。
大きいから皆当たります（笑）



太鼓のリズムに合わせて、お祭りのように踊りをしている行列に偶然遭遇！





よく見たら…葬儀の行列でした。この後、棺を担いだ方々に遭遇。

バンガロールのＡＳＨＡ　ＣＬＩＮＩＣの松岡先生と撮影。
撮影をお願いした看護婦さん。
カメラの操作に慣れていなくて何度撮影しても
ぶれてしまうので、これでＯＫ（笑）看護婦さんありがとうございます。
先生には、大変親切にしていただき、インドに永く滞在する先生から、
インドでの体調管理で気をつける点など教えていただきました。
「ありがとうございました。」





カテゴリ：
post by 引宰Staff | 日時: 2011.06.16 | パーマリンク | コメント (1) | トラックバック (0)

Day 90, Bangalore,India

Tweet

Check引宰の丹下です。
各地でそれぞれの撮影
が本格的に始まっています。
現在滞在中のバンガロール、本日２回停電を経験しましたが、すぐに復旧。
さすがＩＴ都市、インターネット環境も整っています。
今回はそんなバンガロールの夜の風景をご紹介します。
都会とはいえ流石に夜は灯りがある場所だけが異様に光っています。







カテゴリ：
post by 引宰Staff | 日時: 2011.06.16 | パーマリンク | コメント (0) | トラックバック (0)

11.06.15

Day 89, Chennai, India

Tweet

Check引宰スタッフ徳田です

日本を出発してから９０日が経過しました。



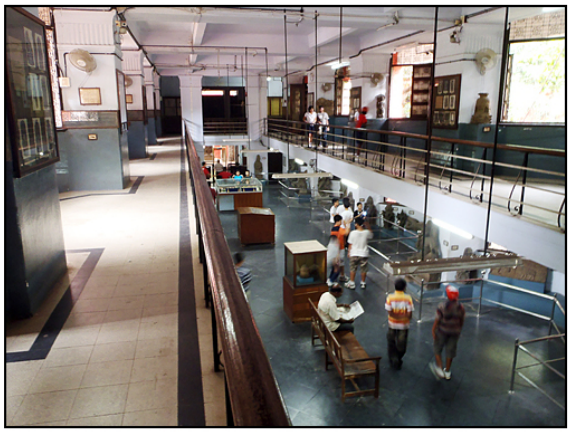


先日、チェンナイにある州立博物館(Government Museum)に行ってみました。
ここの博物館までは指定泊のホテルからでも２０分くらい歩けば行ける距離です。



一番楽しみにしていた仏教とヒンドゥーの像たちがたくさん！
とまでは残念ながらいきませんが、充実感はあります。
やはり作者と歴史、場所によって、
神様の格好の解釈の仕方が少しずつ違うのでしょう。
ふくよかな顔から、鼻がすっと高いもの、装飾が多いもの、
いろいろと種類があって面白いです。

とにかく神様の数が多くて、
貧弱なヒンドゥー知識では到底分かりませんでした。
出直したいと思います。







この綺麗な建物はいつからか不明ですが、現在リノベーション中です。

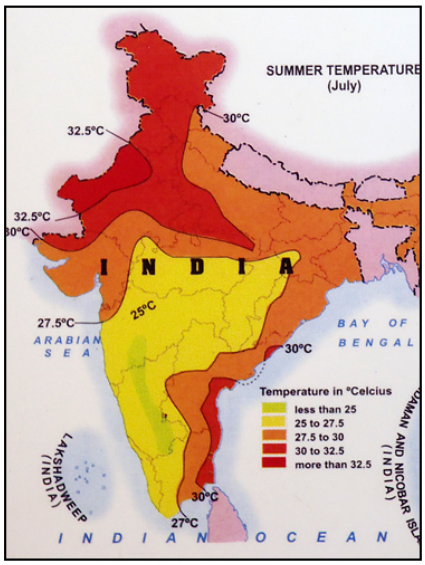




この建物内にはインドの絵画などが展示されています。
おすすめは Raja Ravi Varma という画家の作品です。
インドの農村の風景や、肖像が数点だけでしたが本当に綺麗で必見です。



博物館なので、インドの気候のことにも触れています。
今は６月ですが、この７月の気温表を参考にすると、
チェンナイは３２，５度以上のエリア。
しかし、最近のチェンナイは曇りが多く、夕立も降り、
拍子抜けするほど涼しかったです。



ホテルに帰り、新聞を開くと

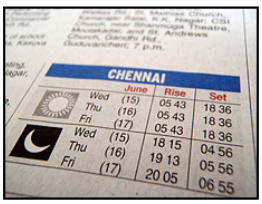
あらら、熱さに拍子抜けしていた自分はいずこへ。。

「最高気温　３８度」

やはり、とても とても熱いですね。気をつけます。

写真右：チェンナイの日の出日の入り時間





翌日はハイダラバードへ移動します。

カテゴリ：
post by引率Staff | 日時: 2011.06.15 | パーマリンク | コメント (0) | トラックバック (0)

11.06.14

Day 88, Bangalore,India

Tweet

Check引率スタッフ丹下です。

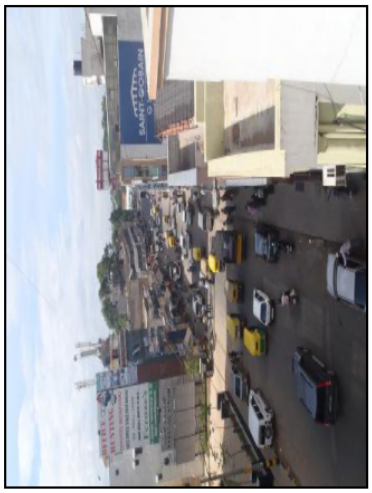
成田を発って1週間。マレーシア（クアラルンプール）からインド（チェンナイ）に入り、
6月12日（日）から**バンガロール**に来ています。



チェンナイの国内線で、飛行機を待つ堤さんと柳川さん。
バンガロールは、州立博物館やクリケット場のある大きな公園に囲まれた都市で、
標高920メートルの高原都市と言われるだけあって、朝・夕は少し肌寒く感じます。
（日中の日射しは、強烈ですが…。）
ＩＴ産業の中心地で、近代的な建物や、マック、サブウェイ、ピザハット、ケンタッキー…などなど。日本でお馴染みのファストフードも沢山あり、私たちも3人で久々のケンタッキーを食べました。
（１週間とは言え、懐かしい味。インドに来てからは、殆どカレーでした。パンを食べてもどこかカレーの味がしました（笑））



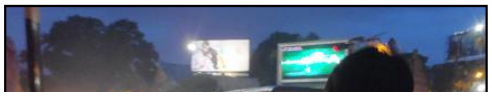
バンガロールの道は整備されていて、建物もチェンナイと比較したらかなり新しいです。

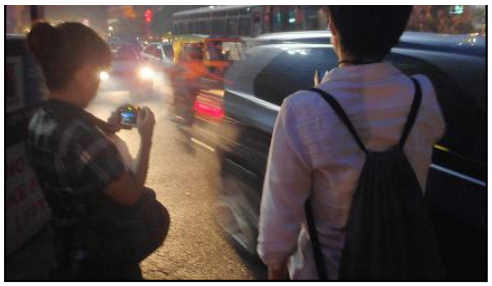


ホテルのベランダから



夜の渋滞ラッシュは、車、車、車、チェンナイと同じく人、人、人です。





このチェンナイについて早速、堤さん、柳川さんは撮影をしていました。
13日の昨日、それぞれの場所に着いたＦＷ生から、定時連絡を受けました。
皆元気！
バンガロール組は、本日から本格的な撮影が始まります。
みんな頑張れ～。

カテゴリ：
post by 引宝Staff | 日時: 2011.06.14 | パーマリンク | コメント (2) | トラックバック (0)

11.06.13

Day 87, Chennai, India

Tweet　　Check引宝スタッフ徳田です

インド３日目

学生たちがインド各地に旅立ち、撮影日程が始まりました。

夜の終わりの朝の始まり、まだ暗い中
４：３０
第一陣の出発です。

ロビーに集合して車が来るのを待ちます。

写真右：見送る丹下さんと、出発を待つ清水さん





写真左：出発を待つ清水さん、鈴木くん、森上さん

写真右：出発を待つ小林さん、見送る原さん







小林さん、森上さん、清水さんはデリーへ。
鈴木くんはバンガロール経由でゴアへと向かいました。





では、いってらっしゃい！




そして、一眠りした後、
７：００
第二陣の出発です。

出発を待つ柳川さん、丹下さん、堤さん。



タクシーを待つ堤さん、柳川さん




空港まではインドでよく見かけるレトロなアンバサダーで。



ホテルのフレンドリーな方たちともお別れです。
一期一会ですね。

バンガロールへ旅立つ堤さん、柳川さん、丹下さん





いってらっしゃい！





そして、チャイを飲みながら待つこと
８：３０
第三陣の高野くんが出発です。

ホテルのトラベルデスクにてタクシーの確認をする高野くん。







朝から皆の旅立ちを見送った原さんと、
デリーでしばらく滞在する予定の高野くん、
ホテルの方たちと最後に記念撮影。



いってらっしゃい！





そして、原さんもチェンナイの自身の宿泊先に移動しました。



異国インドの目が覚めるような喧噪の中、
旅をすることは大変な事も多いけれど、得る物も比例して多いはず。
学生全員が再び集合するのは今までで最長の１８日後のコルカタ。
それまでに、一人ひとり新たな壁を乗り越えて一回り成長していることでしょう。

では健康と安全に気をつけて、良い旅をしてください！
再会の日を楽しみにしています！

カテゴリ：
post by 引率Staff | 日時: 2011.06.13 | パーマリンク | コメント (0) | トラックバック (0)

11.06.12

Day 86, CHENNAI

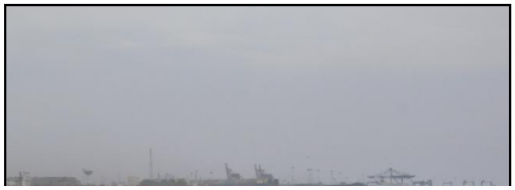
Tweet

Check引率の丹下です。チェンナイのネットカフェからブログの更新をしています。
マレーシアを出て、2日目の今日は、自由行動で各自明日からの撮影に向けて準備をしています。
インドの気温は暑く、人も多く、旅慣れてきた学生達もやはり、インドは他の国との違いがあると
感じているようです。
でもみんな元気です。
マレーシアからチェンナイ行きのカウンターで



休日の今日は、高野さんとマリーナビーチに行ってきました。
曇り空でしたが、とても綺麗なビーチでインドの人たちも休日を大いに満喫している様子でした。







いよいよ明日から、各自インドでの撮影が始まります。

カテゴリ：

post by 引宰Staff | 日時: 2011.06.12 | パーマリンク | コメント (1) | トラックバック (0)

Day 86, Chennai, India

Tweet

Check引宰スタッフ徳田です。



この日は原さんとチェンナイの最新モール、
チェンナイ・シティー・センターへ行ってきました。

ファッション、ファーストフード、レストラン、映画館などが入っています。
中は最新だけあり、ピカピカです。







マハラジャ・バーガーを食べてみました。
ほのかにカレー味のするあっさりめの味付けで、ボリューム感があります。





シティー・センターの上からチェンナイ市街。



海側街並。



チェンナイ・エグモア駅構内。



たくさんの人が並んでチケットを買っています。



もし、チェンナイ発とその他のチケットを買いたければ、
写真右の一番右のカウンターでも場合によって購入可能です。







写真左：チケット購入窓口

写真右：リキシャードライバーと話す鈴木くん、原さん







インドの取材日程が始まる前日ということもあり、みんなで夕食へ行きました。
ベジタリアンレストランでカレー以外もあり、とても美味しいです。

写真左：料理を注文する堤さん

写真右：料理を待つ原さん、柳川さん、森上さん、清水さん





写真左：ウェイターの方と丹下さん

写真右：料理を待つ鈴木くん、高野くん、原さん











翌日の空港へ行くタクシーを予約する清水さん、小林さん、森上さん、鈴木くん。



作業をする原さん。





翌日からはインドの取材日程が始まります。

カテゴリ：
post by 引宝Staff | 日時: 2011.06.12 | パーマリンク | コメント (0) | トラックバック (0)

Day 85-03, Chennai, India

Tweet

Check引宝スタッフ徳田です。

インドでは便利な移動手段の一つ、
黄色いリクシャーに乗ってチェンナイ観光へ行ってきました。

ほとんどのチェンナイのリクシャードライバーのお勧め観光地は

１：カパーリーシュヴァラル寺院(Kapaleeswarar Temple)
２：サン・トメ大聖堂 (San Thome Basilica)
３：マリーナ・ビーナ (Marina Beach)

上記の３つです。



リクシャーの運転手さん、鈴木くん、清水さんと出発。



カパーリーシュヴァラル寺院。シヴァ神が祀られています。
寺院内での撮影は有料なので、写真はこの２枚だけです。

写真左：寺院の塔門の彫刻。
　　たくさんのヒンドゥーの神様がいて見応え十分。
　　ただし、意味が分かったらもっと楽しいかも知れません。。





サン・トメ大聖堂 (San Thome Basilica)
イエスの１２使徒ののー人の聖トマスはキリスト教布教の為に
遠くチャンナイまでやって来て、この地で殉教したと信じられています。







自分がFWをしていた２００５年。
五十嵐先生と仲間とー緒にシスター・ノラ尋ねたのを思い出しました。
当時の自分には常に全てが新鮮で、シスターたちにも、この聖堂にも
聖トマスが眠っている地下トンブにも秘めたる聖を感じていました。
シスターたちは覚えてないと思うけれど、本当はもうー度シスターを尋ねたかった。
警備のおっちゃんに「シスター・ノラはどこ？」と聞いてみたら
「えっ？　分かんないんだけど？　WHAT?」と退される始末。
やはり出会いはタイミングが大事なのでしょう。



それにしても、サリーを着て教会に来る姿はいつ見ても新鮮です。



マリーナ・ビーナ (Marina Beach)

海岸は１２kmあって、世界で２番目に長い海岸ということです。





砂浜の幅が６０ｍくらいあるので、そこにいろいろな遊具やお店が出てます。

人力メリーゴーランドに乗ってみました。
バランス重視なので、乗る場所は指定です。



こう２人のおっちゃんがぐるぐるとカー杯ハンドルを回すと、
おっちゃんの力に呼応するようにメリーゴーランドは意外なほど早く回っていきます。




人力メリーゴーランドに乗る、清水さん、鈴木くん。




メリーゴーランドの後は射的です。

やたらと目立つ風船に気を取られて思わず挑戦したくなること必須。
日本ならば風船をいくつか割ると景品がもらえると思いますが、違います。
１発打つとおばちゃんが銀玉を１つ詰め直して、約１０発打って終わり。
何個風船を割っても、外しても１０発目にはおばちゃんが
無表情でそっと銃を受け取ります。
どこか不完全燃焼なこのゲームは静かに終わりを向かえます。




鈴木くんが挑戦。



清水さんも挑戦。




海をバックに清水さん、鈴木くん。













海岸にはたくさんの人が座っています。







海は荒れていて、若干波がありましたが海で遊んでいる人もたくさん。
インドでも海に入る時は服を着たまま泳ぐようです。



鈴木くん









清水さん





そして、清水さん、鈴木くんは人力観覧車にも挑戦。
こちらはおっちゃんが一人で回します。

一度に４人しか乗れないこの人力観覧車ですが、
２人曰く「上からカゴが落ちて来て当たりそう」
ということでスリルは満点のようです。



やたら楽しそうな清水さん、鈴木くん






引きで見るとこのようになっています。
２人ともマリーナ・ビーナ を十分に楽しんでいました。



カテゴリ：
post by 引宝Staff | 日時: 2011.06.12 | パーマリンク | コメント (0) | トラックバック (0)

Day 85-02, Malaysia to Chennai, India

Tweet

Check引宝スタッフ徳田です。

インド初日

日本との時差、３時間３０分。

マレーシアからのフライトは全体移動としてはベトナムの以来でした。
途中、小さめの機体だったからでしょうか、かなり揺れました。冷や汗もんです。
機内食はノンベジとベジタリアンの２つがあります。
ノンベジは魚がメインの料理でしたが、
ベジタリアンを頼むとさっそくカレーを楽しむ事ができます。

１０：１４
予定到着時間の１０：１５よりもかなり早めの９：３０到着。
イミグレーションを越えて、荷物を背負った時にやっと１０：１５になりました。
あまり早くに着きすぎると、頼んでおいたバンが来ているか微妙です。




１０：２２
迎えのバンが来ているか確認する為にとりあえず外へ出ました。
そこにはレッドカーペットを見る為に集まったかのごとく
両側にずらっと並んだインドの方たち。





彼らは旅人を歓迎しているのか、見守っているのか、
人を待っているからここに並んでいるのか分かりませんが、
この日本人１０人の集団を凝視していました。
きっと「ウェルカム　トゥー　インディア」と心の中で言ってます。




１０：４０
結局バンはまだ来ていなかったので、
日本の携帯から電話しようとしましたが繋がりません。
すると、横で見ていたタクシーの運転手さんが
「どうした？　０を最初につけてかければいいんだ。ほら出た話せ。」
といったかんじに助けてくれました。
ありがとう、おっちゃん。

バンは無事その５分後到着。
やはり早すぎる到着で、待ち合わせがずれたようでした。






１０：４３
２台のバンに５人ずつ別れて乗車。






バン車内、小林さん、清水さん、森上さん、柳川さん





ガイドさん曰く、今は１年で一番暑い時期らしく、
チェンナイでは気温４２度、湿度８０％を越える日もあるとか。
アツイ、暑い、熱い、インドが本格的に始まります！



１１：４５
少し渋滞にはまり、チェンナイ エグモア駅近くのホテルにほぼ１時間で到着。
さっそく日差しは今までになく鋭く降り注いできました。







１２：３０
ホテルにチャックイン後、エグモア駅前のATMへ。
駅を正面に左の方向に３種類のATMがあります。
２台はカードを受け付けず、一番左のATMで皆ルピーを下ろしました。





エグモア駅。



１３：３０
ガイドさんに聞いていたホテル近くのカレー屋さんへ。

全員いろいろな種類のカレーとヨーグルトなどが乗ったターリー注文。
インドの定食のようなものです。







南インドは米が主食ですので、カレーは米と一緒に食します。
ちなみに大雑把に分けて、北インドはナンやチャパティの小麦食です。

インドで初インドカレー。

堤さん、高野くん、丹下さん、鈴木くん、清水さん



森上さん、柳川さん、小林さん、原さん





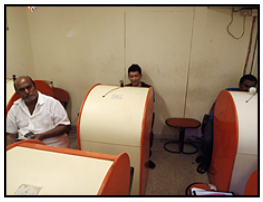
アディカツィリという名前のアイスクリームも食べてみました。
味は牛乳を原料にしたような甘みがあって美味しかったのですが、
結局何を食べたのか分からないうちに無くなりました。




丹下さんは到着メールを日本へ送る為にホテルの横のネットカフェへ。
日本語は読む事ができましたが、打てず、メールはローマ字にて送信しました。

今までのFW7カ国ではネット環境に困る事は少なくなりましたが、
ここインドではまだ難があるようです。

みんな、定時連絡が今まで以上に大変かと思いますがよろしく。





街の喧噪、道行く全ての人、香り、大気そのものが今までの国々とは違います。
日本から見て、一番「外国」という言葉が似合う異文化の異国の国でしょう。
５感をまどろませ、第６感すらも誘惑し始め、人を心地よく魅了するインドでは
間違いなくひと味違った、素晴らしいFWになることでしょう。

インドのFWが始まりました！

カテゴリ：
post by 引宅Staff | 日時: 2011.06.12 | パーマリンク | コメント (0) | トラックバック (0)

Day 85-01, Malaysia to Chennai, India

Tweet

Check引宅スタッフ徳田です。

インド出発日。

５：００
頼んでおいたバン２台が来るはずでしたが、１台しか来ていませんでした。
すぐにドライバーさんにもう１台のバンを呼んでもらう事に。



多難であろうインドへ向けての最初がこれでは、まさに前途多難です。







次にまたこの施設に戻ってくる6期生はインド、ネパール、中国を越えて
また一段とたくましくなっていることでしょう。



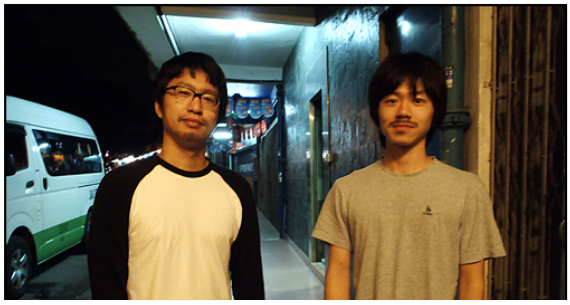
FW5 穂積くん、丹下さん



冨田先生とは中国の成都まで暫しの別れ。
固く握手をする高野くん、冨田先生、堤さん、清水さん、鈴木くん



椿くん、穂積くん英語学校の勉強頑張って下さい！
また8月賑やかになりますが、その時はよろしく。





５：３０
KLIA(クアラルンプール国際空港)へ出発

手を振る穂積くん、冨田先生、梅くん




６：２０
KLIA到着。
普段は１時間弱かかるところを、さすが早朝４０分で着きました。




搭乗手続きへ。



写真右：ジェットエアウェイズのカウンターを探す学生。




６：３０
搭乗手続きをする清水さん、鈴木くん、原さん。




丹下さん、高野くん、森上さん、小林さん、柳川さん、原さん









６：４５
出発してから何回目の国境でしょうか。
出発当初の学生たちは国境というものに胸を躍らせて、緊張していましたが
今の成長した学生たちは、国境を越える事に少し慣れてきたようです。

とうとうマレーシア出国へ向けてイミグレーションへ向かいます。

丹下さん





原さん、森上さん





鈴木くん、小林さん





清水さん、高野くん





柳川さん、堤さん










７：０７
イミグレーションを終えて、搭乗ゲートへ向かう車両の中。

丹下さん、原さん、清水さん、高野くん



堤さん、柳川さん、小林さん、森上さん




搭乗時間を待つ間、学生たちと一緒にチェンナイへ向かう女性と
さっそくコミュニケーションをとり、
インドの横に首を振るうなづき方に感動しました。










７：４５
いよいよ搭乗の時間が迫ってきました。
最後にメールの確認をする学生たち。




この次のブログはインド到着後からです。

Day 85-02へつづく。

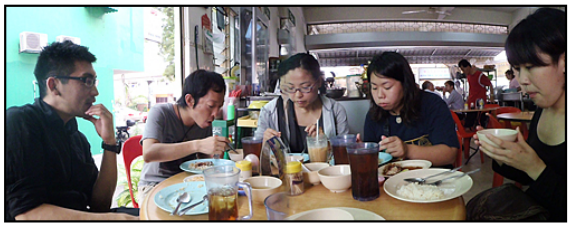
Day 84, Petaling Jaya, meeting with students

Tweet

Check引宅スタッフ徳田です。

丹下さんが合流し２日目。
インド出発前日。

昼食は連日同様、チャーシュー飯屋さんへ。



そして、学生一人ひとりとこれまでの旅の感想などを聞く面談をしました。
一人１５分の予定でしたが、やはりここまでの３ヶ月のFWは
たった１５分に詰め込む事はできません。
みな少しずつ延長して、今までとこれからの想いを語ってくれました。

最初は出席番号順に小林さんから。



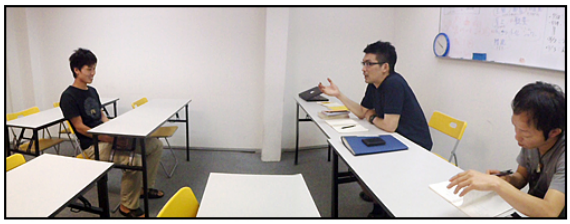



次は清水さん。






３番目は鈴木くん。



写真左：鈴木くん

写真右：高野くん




堤さん




原さん



森上さん





柳川さん



インドへ向けてのブリーフィング

いつも通りハンドブックの読み合わせと、
インド滞在へ向けて、さらに注意が必要な点や事例などを話ました。









そして、夕食は緑の壁のお店へ。

食器を熱湯で洗う原さんと、小林さん。





これでマレーシアの美味しいご飯とも暫しの別れ。

インドでインドカレーの日々が始まります。





翌日は早朝の５時に空港へ出発です。

カテゴリ：
post by 引率Staff | 日時：2011.06.12 | パーマリンク | コメント (0) | トラックバック (0)

11.06.10

Day 85, The End Of South-east Asia, The Beginnig Of INDIA

Tweet　　Check

引率 冨田です。

本日早朝５時３０分。

フィールドワーク６期生８名と引率者２名がインドへ向けて
マレーシアのスクーリング施設を出発しました。

海外フィールドワークが始まって約３ヶ月。

この３ヶ月間という時間は、
私にとってはとても濃密で何者にも代え難い時だったと感じています。
きっと学生たちも同じ想いを抱いていることと思います。

震災直後の日本を飛び出し、
背中に背負うバックパックの何倍もの重さの不安を全身で抱え、
彼らの旅はスタートしました。

すべてが順調という訳ではありません。
それはきっと、今後も続いていくでしょう。

だからこそ、こうして自身の力で海外を歩いていく意味があるのだと思います。
だからこそ、わざわざ重いカメラを持って飛び出していく意味があるのです。

彼らが目にする光景の一つ一つ
彼らが出会う一人一人
彼らが抱く感情の一つ一つ

そのすべてが彼らを前へと進ませていきます。

3月18日、大阪港にいた８人と、
今日、インドへ向かった８人は、
明らかに違う表情をしていました。

次に私が彼らに会うのは7月17日、中国は成都です。

これからの１ヶ月半、
彼らの顔がどう変わっていくのか、
どんな写真を撮ってくるのか、
今から非常に楽しみです。

旅はいよいよ後半戦。
インドが彼らを待っています。

これからが本番、ここからが本当の意味でのフィールドワークのスタートです。



カテゴリ：
post by 引率Staff | 日時：2011.06.10 | パーマリンク | コメント (0) | トラックバック (0)

11.06.09

Day 84, Petaling Jaya

Tweet　　Check皆さんはじめまして、
マレーシアで学生達に

合流した引率の村下です。
ここから冨田先生と交代して、インド・ネパールまで共に行動をします。
昨夜は、到着後、皆で食事会を行いました。（学生達、皆元気！）



本日は、一人ひとりと面談を行い、その後インドのブリーフィングをおこないました。





明日は朝、五時出発。
インド、チェンナイに向かいます。

カテゴリ：
post by 引率Staff | 日時: 2011.06.09 | パーマリンク | コメント (2) | トラックバック (0)

11.06.08

Day 83, Petaling Jaya

Tweet　　Check引率スタッフ徳田です

タイからマレーシアに入り、今日で２９日目です。

そして、インドからの引率者である'あの人'も本日来馬です！！

昼過ぎに今後の日程の連絡事項と大掃除の分担を決めるミーティングをしました。







ミーティング後、各自担当の場所へと散らばり、テキパキと作業をして
どんどん溜まったチリ汚れを落としてくれました。

写真左：シャワー室を掃除する堤さん

写真右：エアコンを掃除する清水さん






写真左：キッチン周りを掃除する森上さん

写真右：男子部屋のエアコンを掃除する高野くん



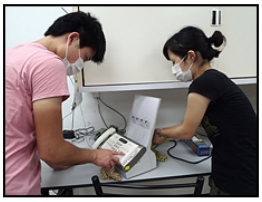

写真左：教室のエアコンを掃除する柳川さん

写真右：男子部屋の掃き掃除をする鈴木くん

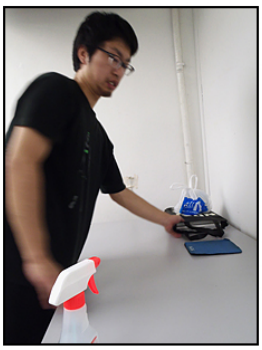



写真左：作業部屋を整理する小林さん

写真右：作業台を掃除する高野くん、原さん

英語学校から帰って来た穂積くんと椿くんも手伝ってくれました。
ありがとう。

皆懸命に掃除してくれたので綺麗になりました。





掃除の後の学生たちはインドの行程の確認、予約の手配などをしていました。

写真左：森上さん、清水さん、小林さん

写真右：堤さん、柳川さん





そして、

もうすぐか、、

今か今かと待っていた

丹下さんが冨田先生と共に施設へ到着しました！





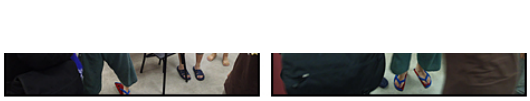
丹下さんようこそ円興学園施設へ！



さっそく学生にお菓子のお土産を渡すと、
日本の甘い物を真に欲していた学生たちは、群がり、すぐに美味しく平らげてしまいました。









やはり日本のお菓子は最高です。



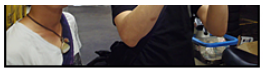


そして全員で緑の壁のお店に夕食へ。










丹下さん、インド・ネパール４１日間、よろしくお願いします。



インド出発まであと２日。

カテゴリ：
post by 引率Staff | 日時: 2011.06.08 | パーマリンク | コメント (2) | トラックバック (0)

11.06.06

Day 81, Singapore to Malaysia

Tweet

Check引率スタッフ徳田です。

シンガポールでの日程を終えマレーシアへ戻りました。

１３：３０
ハーバーフロントのシンガポールに着いた時にミーティングをした場所に、再び集合。
現地集合だったのですが、みな余裕を持って集合時間よりもかなり早めに到着していました。







１４：２０
シンガポール最後の集合写真。

シンガポールではほとんどが浴衣姿の写真だったので、洋服が逆に新鮮になりました。

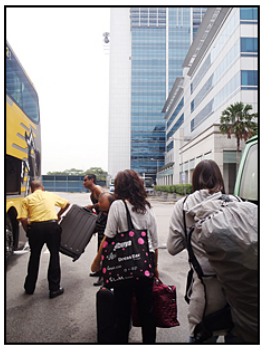






１４：２５

乗車開始。









乗車と同時にイミグレーションカードをもらったので、全員すぐに書き始めました。
皆もう何回も国境を越えて来たので、慣れてきましたね。
すんなりと記入完了。



発車してからすぐに、アテンダントさんが水を配ってくれました。





写真左
行きのバスは個々のシートに画面が付いていたのですが、
今回のバスには個別画面は無く、バス前方にTVがあるだけでした。
しかしヘッドホンを配ってくれるので、それを繋いで映画を楽しめます。

写真右
行きの軽食はサブウェイでしたが、今回はお弁当。
魚のフライが２つ、マカロニサラダ、ソーセージパン、中国ゼリー。





１５：２０
やはりコーズウェイは通らず、今回もセカンドリンクを通って国境を通過しました。





１７：４５
車内にトイレはあるのですが、途中１０分休憩が１回入りました。
ここにてサンウェイでピックアップしてくれる、バンの運転手さんに確認の電話。



車窓からはマレーシアらしく、延々とパームオイル・プランテーションが続きます。



１９：５５
途中で渋滞にはまったかと思いきや、予想通りの時間に到着しました。
さすが高級バスのAEROLINEです。
とても快適にKLまで来れました。



写真左
サンウェイピラミッドの中にも日本を応援してくれている文字があります。
ありがとう、マレーシア。

写真右
サンウェイラグーン（大きいプールのアトラクション）のキャラクター。





２０：３０
約束通りバン２台が来てくれてPJの県学園施設へ無事戻りました。





夕食は高野くん、堤さんとナシゴレンとミーゴレンを食べに行きました。
ここのチキンがまた美味しいこと！
確かにすごく沢山の人が食べに来ているのが納得できます。



美味しさに満足している高野くん、堤さん。



インド出発まで残り４日です。

カテゴリ：

post by 引宅Staff | 日時: 2011.06.06 | パーマリンク | コメント (0) | トラックバック (0)

11.06.04

Day 79-03, Singapore

Tweet　　Check引宅スタッフ徳田です

スライドショーの後は小ミーティングの後、みなで夕食へ行きました。
夕食の場所はと言いますと、あの有名なラーメン屋さんです！



ハーバーフロントから地下鉄でシティーホール、そしてミレニアスクエアへ。





どこのラーメン屋さんかというと、
うまいぜベイビーとつい口に出してしまいたくなるフレーズで有名な
「なんつッ亭」です！

ここシンガポール店が「なんつッ亭」の海外第一号店です。





この大将の人形もシンガポールで大人気だそうです。





なんとこの「なんつッ亭」は我らが日本写真芸術専門学校の姉妹校、
日本デザイナー学院とコラボレーションしています！
２０１０年はグラフィックデザイン科２年生の授業「実践コラボレーション」の授業課題で、
大磯ロングビーチに夏の期間限定で出店する「なんつッ亭」の壁画デザインをしました。

詳しくは下記のHPへ
「なんつッ亭」×「日本デザイナー学院」

「なんつッ亭」HP

コラボの様子はこちら











黒マー油豚骨ラーメンで有名な「なんつッ亭」のラーメンを食べました。

写真はネギチャーシューラーメン。
黒マー油の浮いた濃くと旨味の重厚なスープの上に
十二分に満足させてくれる量のボリュームあるチャーシュー。
このチャーシューがスープを吸って、旨味が増すのを待つのがまた楽しいんです！
その上にはアジアを旅していると嫌でも恋しくなる白髪ネギが
これでもかと雪山のように美しく勇壮な姿でそびえ立っています。





うまいッ！！！　最高です！！！





学生たちも美味しさに満足していました。



我々が日本デザイナー学院の姉妹校であることをお店の人に告げると
大将の古谷一郎氏が奥から出て来てくださいました。
有名な方なのでこのブログを読んでうらやましがるのも仕方ありません。
熊倉局長が日本デザイナー学院の事をはなすとすぐに話を分かって頂きました。





古谷一郎氏と熊倉局長



みな綺麗に完食しました。
ごちそうさまでした！
これでインドからのFWの充電が完了です。





うまいぜベイビー　　なんつッ亭！！！

カテゴリ：
post by 引宅Staff | 日時: 2011.06.04 | パーマリンク | コメント (1) | トラックバック (0)

Day 79-02, Singapore

Tweet

Check引宅スタッフ徳田です。

スライドショー３番手は鈴木くんです。

英語で写真の説明をする鈴木くん。









スライドショーを終えて、やりきった表情の鈴木くん。





そして、スライドショー最後は原さん。

英語で写真の説明をする原さん。






質問をするお客さんと答える原さん。




４人は大勢の人の前での英語の説明やスライドショーにとても緊張していましたが、
いざ自身の番がくると毅然とした姿勢で向き合っていました。

やりきった表情の原さん。




最後に熊倉局長からの挨拶と、アントニオさんからの挨拶。










スライドショーを終えてからもお客さんの中には
学生の写真への熱が冷めず、個人的に質問にくる方もいました。




さらにたくさんの人が来場してくれました。
会場が人でごった返しています。





こちらの来場された方２人には学生の写真とスライドショーに
「ベリー　グッドだ！！」とお褒めの言葉を頂きました。









写真左
ご自身の写真を見せるお客さんと学生。

写真右
若くて写真に興味のある方からは実際に写真学校への興味と質問が多くありました。
質問するお客さん２人、高野くん、学校の説明をする冨田先生。









お客さん、堤さん、原さん。



そして、最後に全員で集合写真。




OLYMPUS IMAGING SINGAPORE様、
今年も厚いサポートをいただき、ありがとうございます。

左から
OLYMPUS IMAGING SINGAPOREのAntonioさん。
柳川さん、高野くん、清水さん、鈴木くん、森上さん、熊倉局長
OLYMPUS IMAGING SINGAPORE GENERAL MANAGERのJimmyさん
原さん、堤さん、小林さん、富田先生。



ジミーさんから学生へ挨拶を頂きました。



一人一人学生と握手をするジミーさんと高野くん。





ナショナルジオグラフィック・ストアーの責任者の方が不在だった為、
熊倉局長から今回の写真展の担当者Wei Qianさんへ
竹内敏信校長のサイン入り写真集と
サルガド氏のワークショップの実理事長サイン入り写真集をプレゼントしました。



左から
柳川さん、高野くん、森上さん、鈴木くん、Wei Qianさん、熊倉局長
清水さん、堤さん、小林さん、原さん。





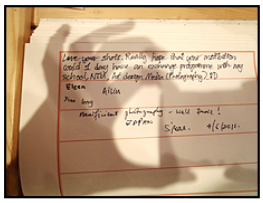




お客さんと堤さん、柳川さん、森上さん。



芳名帳にはさらにコメントが増えました。





４日間の日程を終え、浴衣から着替えた学生。

今回の写真展とスライドショーでの経験は必ず今後の学生の糧となります。
みな懸命に動き、良い達成感を得る事ができました。





今回の展示に際しまして、関係者の皆様には深厚なご協力、ご支援を賜りました。
厚く御礼申し上げます。

カテゴリ：
post by 引宮Staff | 日時: 2011.06.04 | パーマリンク | コメント (0) | トラックバック (0)

Day 79-01, Singapore

Tweet

Check引宮スタッフ徳田です。

シンガポール５日目
この日は冨田先生と学生４人が準備してきた＜スライドショー＞の日です。

朝会場へ来ると写真が一枚傾いていたので修正。
高野くん、鈴木くん、清水さん







先日、冨田先生が作成したチラシにスライドショーの案内を書き足す小林さん。
小林さん曰く、こんなに同じ文字を書き続けた事はない、とのこと。
たくさん書いてくれました。



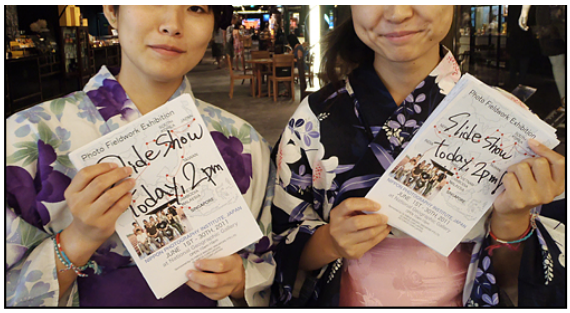


お店の入り口にてチラシを配る高野くん、鈴木くん。



堤さん、清水さん。

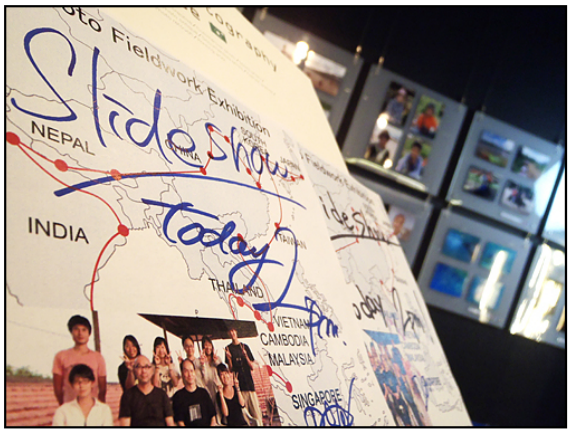




アントニオさんと学生たちがたくさんの人に声をかけ、
精力的にスライドショーのお客さんを呼び込んでいました。



そして、１４時。
ナショナルジオグラフィック・ストアーの担当者の方が来るのが遅かったり、
コードがうまく繋がらないなのとトラブルがありましたが、
冨田先生、アントニオさん、担当者さんが迅速に対応して、
無事イベントがスタートしました。



たくさんのお客さんが来てくださり、イスや座るスペースに入りきらないため、
立ち見の方もたくさんいらっしゃいました。

学生たちは緊張の中、各自英語で挨拶をし、熊倉局長からもFWの説明と挨拶。



そして、高野くんからスライドショー開始です。

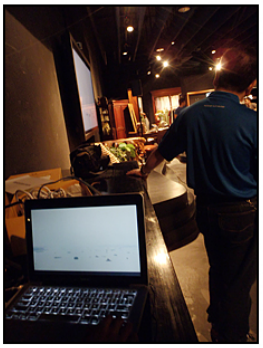
スライドショーをやる学生４人は、事前に写真の英文説明を準備していました。
英文を読む高野くん。








後ろでは冨田先生がスライドショーをコントロール。

高野くんのスライドショーを見守る
原さん、小林さん、柳川さん、堤さん、森上さん、鈴木くん、清水さん。



スライドショーを見るお客さん。



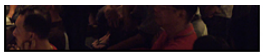
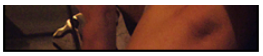


スライドショーの後は、アントニオさんからの提案もあり、
高野くんの写真一枚一枚に説明をし、質問を受け付けました。



質問をするお客さんと、答える高野くん。





写真左
OLYMPUS IMAGING SINGAPORE GENERAL MANAGERの Jimmyさんも
お忙しい中スライドショーに駆けつけて下さいました。

写真右
スライドショーを終えて、やりきった表情の高野くん。

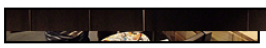



写真左
OLYMPUS IMAGING SINGAPORE GENERAL MANAGERの Jimmyさんも
お忙しい中スライドショーに駆けつけて下さいました。

写真右
スライドショーを終えて、やりきった表情の高野くん。




スライドショーをやっている中、
写真展会場にもたくさんの方が来てくれていました。




そして、スライドショー２番手は清水さん。

英語で写真の説明をする清水さん。




清水さんのスライドショーを見守る

柳川さん、小林さん、高野くん、森上さん、鈴木くん。



写真左：質問をするお客さん

写真右：質問に答える清水さん









そして、スライドショーを終えてやりきった表情の清水さん。





３番目は鈴木くんです。
Day 79-02, Singaporeへ続く。

カテゴリ：
post by 引率Staff | 日時: 2011.06.04 | パーマリンク | コメント (0) | トラックバック (0)

11.06.03

Day 78, Singapore

Tweet

Check引率スタッフ徳田です。

シンガポール４日目、写真展３日目。

昨日に冨田先生が作成したチラシがなくなってしまったので、
この日はアントニオさんが１０００部作って来て頂きました。

ありがとうございます。

左から：アントニオさん、森上さん、小林さん、鈴木くん。



熊倉局長と鈴木くん、森上さん、原さん、小林さん。



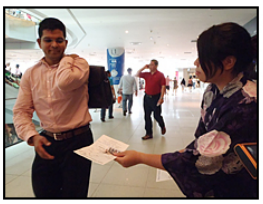
冨田先生と鈴木くん、森上さん、原さん、小林さん。



アントニオさんから頂いたチラシを配って案内をする森上さん、原さん。







OLYMPUS Tough TG-310とチラシと森上さん、原さん。



写真を見に来た人が機材について学生に聞き、
「これらの写真は全てOLYMPUS Tough TG-310で撮影しました。」
と言うと全ての人がその写真の写りの綺麗さに驚きます。

アジア各国の様々な環境で撮影をする学生にはぴったりの機材です。



写真の説明をする高野くん。





受付にて、堤さん、高野くん。



入り口にてチラシを配る柳川さん、清水さん。





森上さん、清水さん。




オリンパスイメージングシンガポールの社長さんのジミー氏のご訪問を待つ、
森上さん、原さん、小林さん、熊倉局長、冨田先生、高野くん。




清水さん、鈴木くん、柳川さん、堤さん。






OLYMPUS IMAGING SINGAPORE GENERAL MANAGERの Jimmyさんと
OLYMPUS IMAGING SINGAPOREの Antonioさんに食事会にご招待頂きました。





写真左：ジミーさんと熊倉局長

写真右：レストランへ向かう鈴木くん、柳川さん



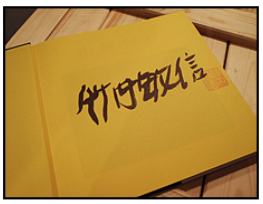


ジミーさんへ熊倉局長から
日本写真芸術専門学校 竹内敏信校長のサイン入り写真集と
サルガド氏のワークショップの宋理事長サイン入り写真集を
プレゼントしました。

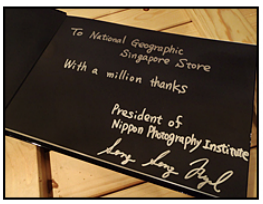
どちらも素晴らしい写真集のため、大変喜んで頂きました。















レストランの料理はとても新鮮で美味しくて、
会話も美味しさに合わせて弾みます。













デザートを食べる、小林さん、清水さん、原さん、森上さん





柳川さん、堤さん、アントニオさん





食事の後、ナショナルジオグラフィック・ストアーの前にて皆で集合写真。
この度は大変豪華な食事会に招待して頂き、ありがとうございました。





そして、この日はタクシーでホテルへ。
４人で割ればそこまで高くなく帰れました。
シンガポールは車両数を減らすためにタクシーの価格を抑えているのでしょうか。
物価と他の価格のわりに安いです。





タクシーの中、小林さん、柳川さん、清水さん。



明日は１４時からスライドショーです。

カテゴリ：
post by 引宅Staff | 日時: 2011.06.03 | パーマリンク | コメント (0) | トラックバック (0)

11.06.02

Day 77-02, Singapore

Tweet

Check引宅スタッフ徳田です。

シンガポール３日目、写真展２日目。

昨日までは開場にガラスケースがいくつか置いてあったのですが、
アントニオさんのご尽力により、ケースを移動して頂きました。
会場を広く使えて、写真もより見やすくなりました。
ありがとうございました。

浴衣姿で集合写真。



フリースタイル。





冨田先生が急遽作成した写真展とスラードショーの案内チラシと
清水さん、堤さん、柳川さん。



受付にて、OLYMPUS Tough TG-310を持つ鈴木くん、高野くん。







学生たちの写真を見るお客さんと高野くん。

高野くんの手にはやはり、OLYMPUS Tough TG-310が握られています。





FWの説明をする鈴木くん。





OLYMPUS様のマークと作品と一緒に集合写真。



フリースタイル。





写真左：カメラの説明をする高野くん。

写真右：FWの説明をする清水さん。





清水さんを撮影するお客さんと清水さん。
後ろにはそれを見る高野くん。



時間のある学生から冨田先生監修の元、
４日のスライドショーへ向けての練習と確認をしました。

写真左
鈴木くんのスライドショーを確認する、小林さん、鈴木くん、冨田先生。

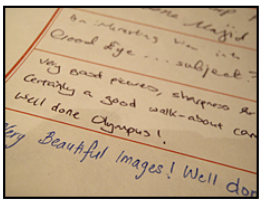
写真右
スライドショーを確認する清水さん、冨田先生。





コメントからは学生たちが積力的に写真とFWの説明をして、
お客さんたちが楽しんでくれている姿が見えてきます





カメラの説明をする高野くん、清水さん。





そして、この日は最寄り駅からタクシーでホテルに帰りました。
シンガポールは終日初乗り３ドルからです。





翌日は展示３日目。

カテゴリ：
post by 引率Staff | 日時: 2011.06.02 | パーマリンク | コメント (0) | トラックバック (0)

Day 77-01, Singapore

Tweet

Check引率スタッフ徳田です。

シンガポール３日目、写真展２日目。

午前中に写真展の合間を縫って
Canon Singapore Pte Ltdのサービスセンターへ行ってきました

ここまで約２ヶ月半のFW、さまざまな環境で撮影をしてきた学生たちは
点検や清掃をしていただくことで、インドからの取材に安心して望むことができます。





対応時間：月曜日～金曜日 ／ ９：３０～１９：００。

我々が写真展を行ったハーバーフロントのVIVO CITYから
歩いてすぐ行ける距離にあるためとても助かりました。



エレベーターにてビルの４階へ行き、受付番号をとります。





順番を待つ原さん、森上さん、清水さん。



英語での説明になってしまうため、日本人のスタッフさんが出てきてくださいました。
細かいところまで対応してくださりとても感謝しております。

カメラの点検・清掃をお願いする原さん。





森上さん





清水さん




これでインドからの取材を安心して行うことができます。

ありがとうございました。

カテゴリ：
post by 引率Staff | 日時: 2011.06.02 | パーマリンク | コメント (0) | トラックバック (0)

11.06.01

Day 76-02, Singapore

Tweet

Check引率スタッフ徳田です。

写真展１日目、後半組。

やはり後半組の浴衣姿も皆とても似合ってますね。
受付にて、小林さん、鈴木くん、柳川さん、原さん。



受付には小林さんと鈴木くん。





さっそくお客さんの対応を英語でする小林さん。







お店の入り口での宣伝は原さんと柳川さん。

FWのパンフを配って英語で案内をする原さん。





案内して楽しんでくれたお客さんとは写真を撮る機会が多々あります。



原さん、お客さん、柳川さん。



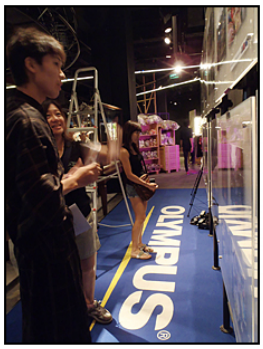


開場の中ではお客さん２人と小林さん、鈴木くん。





お客さんが写真を見る時に一番気にするのは「撮影地はどこ？」です。
撮影地のキャプションがないため、英語で写真の説明をする鈴木くん。





案内をする柳川さん、原さん。








鎗木くん、小林さん。







OLYMPUS Tough TG-310と小林さん。



OLYMPUS Tough TG-310と鈴木くん。

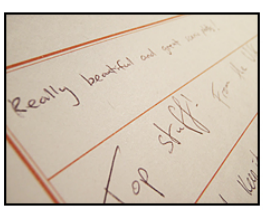


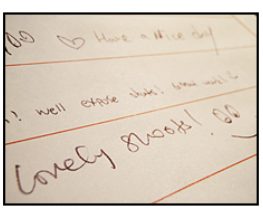
FWの英語パンフレットと原さん。



FWの英語パンフレットと柳川さん。







やはり浴衣というものが皆さんとても気になようで、
浴衣姿の学生たちの撮影をする方がたくさんおります。




初日の展示を終えて、冨田先生より今後の日程の説明。



熊倉局長と日本食屋さんへ行きました。
久しぶりの本格日本食で、みな全ての料理に興奮して、お腹いっぱい楽しみました。
ごちそうさまでした！






そして、地下鉄に乗り最寄り駅へ。






翌日は写真展２日目。

カテゴリ：
post by 引率Staff | 日時: 2011.06.01 | パーマリンク | コメント (0) | トラックバック (0)

Day 76-01, Singapore

Tweet

Check引率スタッフ徳田です。

シンガポール２日目、写真展初日。

ナショナルジオグラフィック・ストアー・シンガポールでの
写真展は６月１日から３１日まで開催です。
学生たちが開場にいるのは４日間だけですが、シンガポールの方々との国際交流や
英語での写真の説明、スライドショーなど今後の彼らに必ず良い影響がある
大変貴重な場を賜りました。

今回の写真展の全ての写真は学生たちが韓国から旅を始め、
ご提供頂いてから常に携帯ししているOLYMPUS Tough TG-310で
毎日のように撮りためた写真です。

オリンパスイメージングシンガポール様には心より御礼申し上げます。
東京のオリンパス本社様、オリンパスイメージング様にも
多大なご尽力を賜りこの場をお借りして改めて御礼申し上げます。
また、写真展で使用されているインクジェット紙は全て
株式会社PICTORICO様よりご提供頂いている用紙を使用しております。

９：００
ホテルからすぐのところにあるバス停からバスに乗り、最寄り駅を目指します。



３つの種類のバスが駅へ行くのですが、この時は１３９番バスを利用。




シンガポールのの掲示物には他民族国家だけあって数種類の言語で表記されています。
この「非常口」は、英語・中国語・マレー語・タミル語の４カ国語。





地下鉄でハーバーフロント駅のVIVO Cityへは乗り換えなし、１５分ほどで到着。



VIVO Cityの外観です。
とても大きいモールで、レストラン、ファッション、スーパーマーケット、
映画館、薬局があるので、ほぼ何でも買う事ができて楽しめます。



この時期はシンガポールのホリデイ期間らしく、
日中でもたくさんの人が行き来しています。



そして、昨日に続き設営。

この日は壁の長さ、写真の幅、高さ、間隔を計算しての作業でした。





学生たちは微調整がとても大変でボール、ワイヤーと悪戦苦闘していました。








熊倉局長が東京から駆けつけてくださいました。

サルガド氏のワークショップで作った写真集と竹内校長の写真集を
学生たちに見せて説明している熊倉局長。

ワークショップで作った写真集はとても立派な装丁で学生も驚いていました。



そして、調整の終わったアクリルパネルと
急遽つくったFW紹介のパネル２枚を置いて写真展開催です。

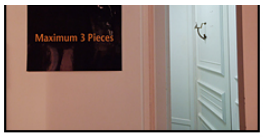
全部で９５枚、６カ国分の旅が詰まっています。





浴衣の着替えは更衣室にて。





写真右：ライトの位置を調整して頂きました。





やはりみな浴衣がとても似合ってますね。
堤さん、森上さん、清水さん、高野くん。





英語で写真の説明をする清水さん。





ナショナルジオグラフィック・ストアーの入り口で宣伝をする堤さん、森上さん。





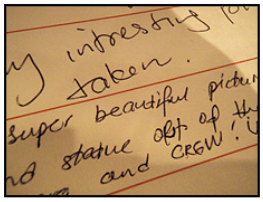


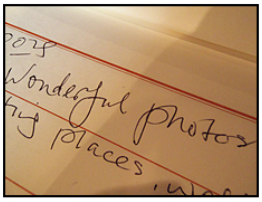
お客さんに説明をする高野くん、清水さん。





この日前半のコメントの中には
「super beautiful pictures」と「Wonderful photos」





そして、この日の後半組に交代です。

カテゴリ：
post by 引率Staff | 日時: 2011.06.01 | パーマリンク | コメント (0) | トラックバック (0)

Copyright 2011 All rights reserved NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE